

第3回 杉並区医療介護連携研究会 報告書

日時 : 2012年7月3日 19:15~21:00
 会場 : 杉並区医師会館 2階及び3階

プログラム

座長 : 甲田医院 院長 甲田潔先生

第1部 19:20~

『東京都における10年後の高齢者福祉政策』

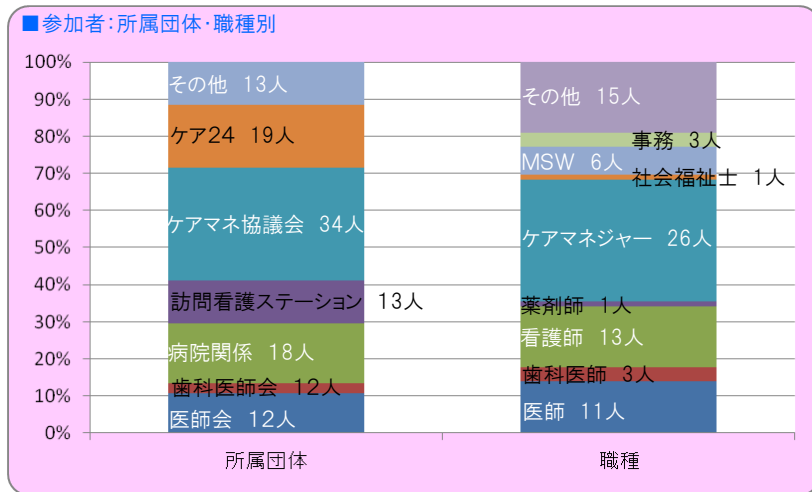
演者: 東京都福祉保健局 高齢社会対策部長: 中山 政昭 氏

第2部 20:00~

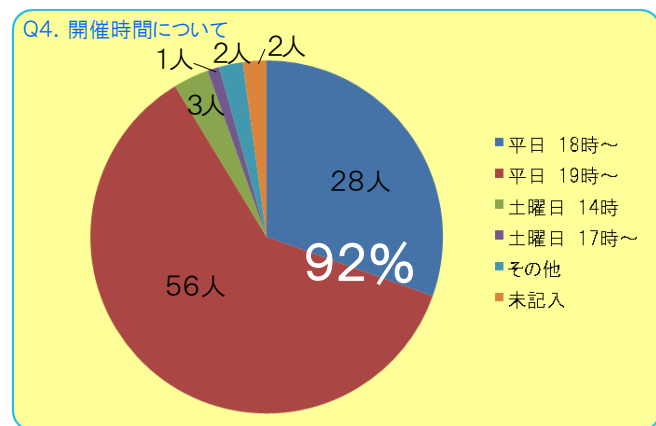
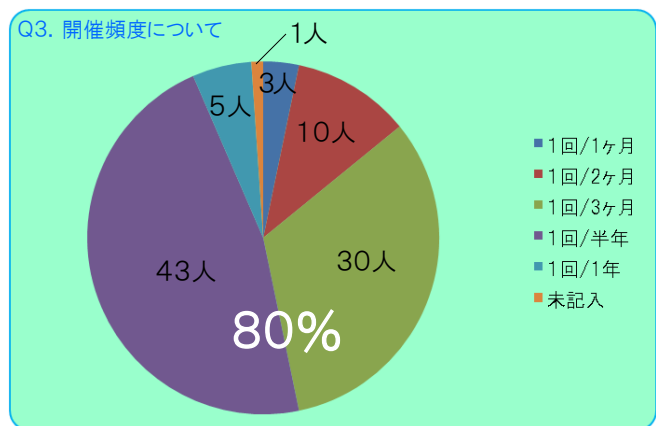
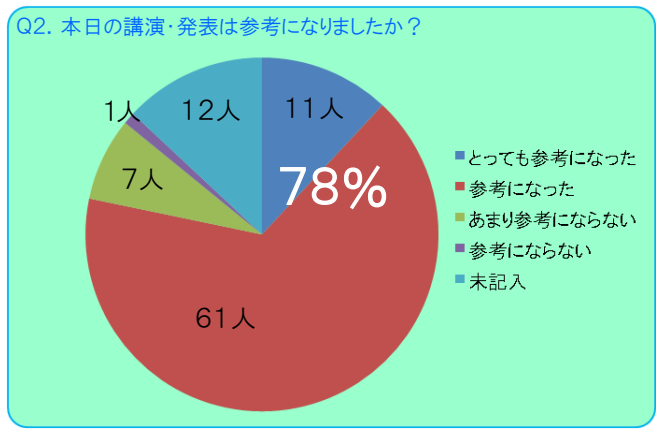
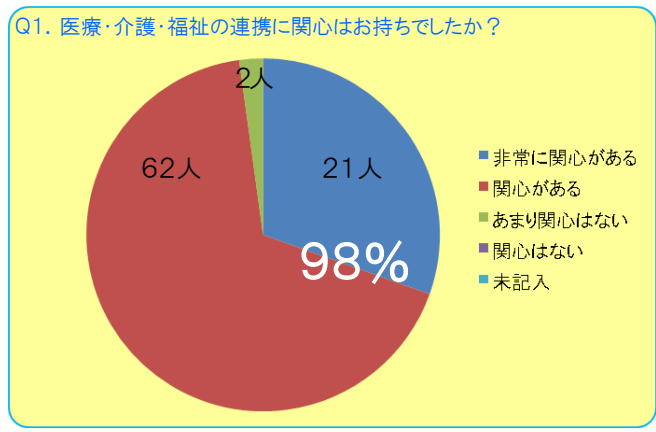
『情報交換会』

研究会参加者: 112名 (内情報交換会参加者: 79名)

アンケート回収: 92枚 (回収率82.4%)

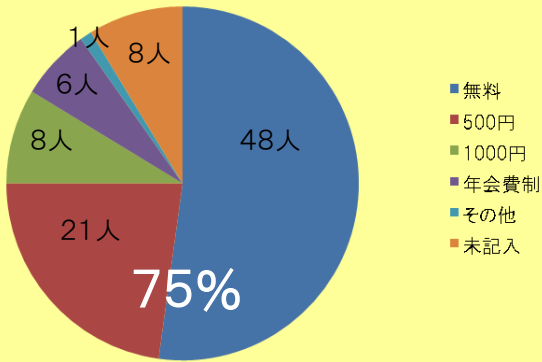


前回同様大勢の方に参加頂きました。今回も多数のケアマネージャーさんにご協力頂いております。次回はもっと幅広く多くの他業種方の御参加も賜りたいと考えております。

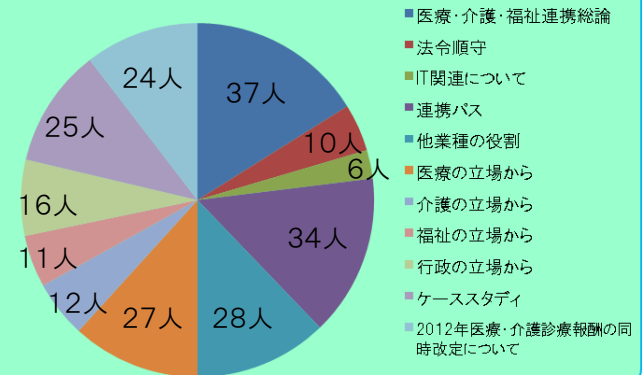


* 3か月~半年に1度開催を希望する声が大半でした。

Q5. 会費制の有無について



Q6. 今後企画してほしい内容について



Q7. ご意見ご要望について

- (1) 老人介護施設 社会福祉士
様々な職種で世話を構成することで色々な角度・視点からテーマをしぼっていただけたら良いと思います。
- (2) ケアマネ協議会 ケアマネージャー
質問側・回答側双方とも記入が簡単な連携シート
- (3) 杉並区役所 社会福祉士
他地区の連携についての取り組みなど
- (4) 杉並区役所 看護師
訪問医療をどのように杉並区医師会が、今後取り組んでいくのか？
- (5) 訪問看護ステーション 看護師
医療改正・改定時には必ず開催してほしい
- (6) 訪問看護ステーション 看護師
交流会
- (7) 医師会 医師
お互いに本音で話せる会にしたい。実際に介護している家族が疲れている家族の本音が聞きたい
- (8) ケア24 看護師
今後私が取り組んでいきたい職が明確になった
- (9) 医師会 医師
杉並区として今後の方針取り組み・この会との関係づくり
- (10) 病院関係 社会福祉士
認知症等のその後
患者取りに関するケーススタディ(Hp・home・特養など)
他園における中型高齢者施設の一例と比較
単独世帯・独居高齢者を支える取り組みを具体的に考える
- (11) 訪問介護ステーション 看護師
開催時期ですが月初はレセプトがあり参加する人が難しいので中旬以降にしてもらいたい
- (12) ケアマネ協議会 ケアマネージャー
2階の音が小さくて聞こえなかった
- (13) 病院関係 MSW
文化的レベルの高い高齢者の多い杉並サービスの利用など介入が難しいこともあるでしょう。細かく・しつこくも適切な距離感が必要だと考えています
- (14) 病院関連 看護師
医療と介護の連携で、それぞれの立場で実際に困っていることを、アンケートなど出しあう必要があると思います。
そうでないと誠にためになる会にならないと思います。
- (15) ケアマネ協議会 ケアマネージャー
資料をもっと見やすく、わかりやすく打ち出して欲しい
- (16) 区役所 事務系
医療と介護の連携が今後重要になると言われておりますのでそのようなテーマでの講座などが行われたら参加したいと思います。
- (17) ケアマネージャー
医療との連携における費用がよくわかりません。利用者さんのことでケアマネージャーがドクターに相談に行った場合など
- (18) 医師会 医師
インターネットをもっと利用すべし
- (19) ケアマネ協議会 ケアマネージャー
先生に在宅介護、在宅生活の事実を理解して頂ける場になると良いと思います。
介護力・介護サービスの限界、介護負担環境など
- (20) ケア24 ケアマネージャー
本日の資料は文字が小さくて読めない
冷房の効かせ過ぎ⇒エコとは離れている

総評: 甲田医院 甲田潔先生

お忙しい中、今回も多くの方にお集り頂き、誠にありがとうございます。
皆様のご意見を参考に今後の運営に役立てていきたいとおもいます。次回も是非お集り下さい。